

# 2023年度 自治会費交付金追加交付額報告

全塾協議会 塾生代表 山田 健太  
全塾協議会 中央機関  
(2024年6月21日更新)



慶應義塾大学  
全塾協議会  
All Keio Student Council

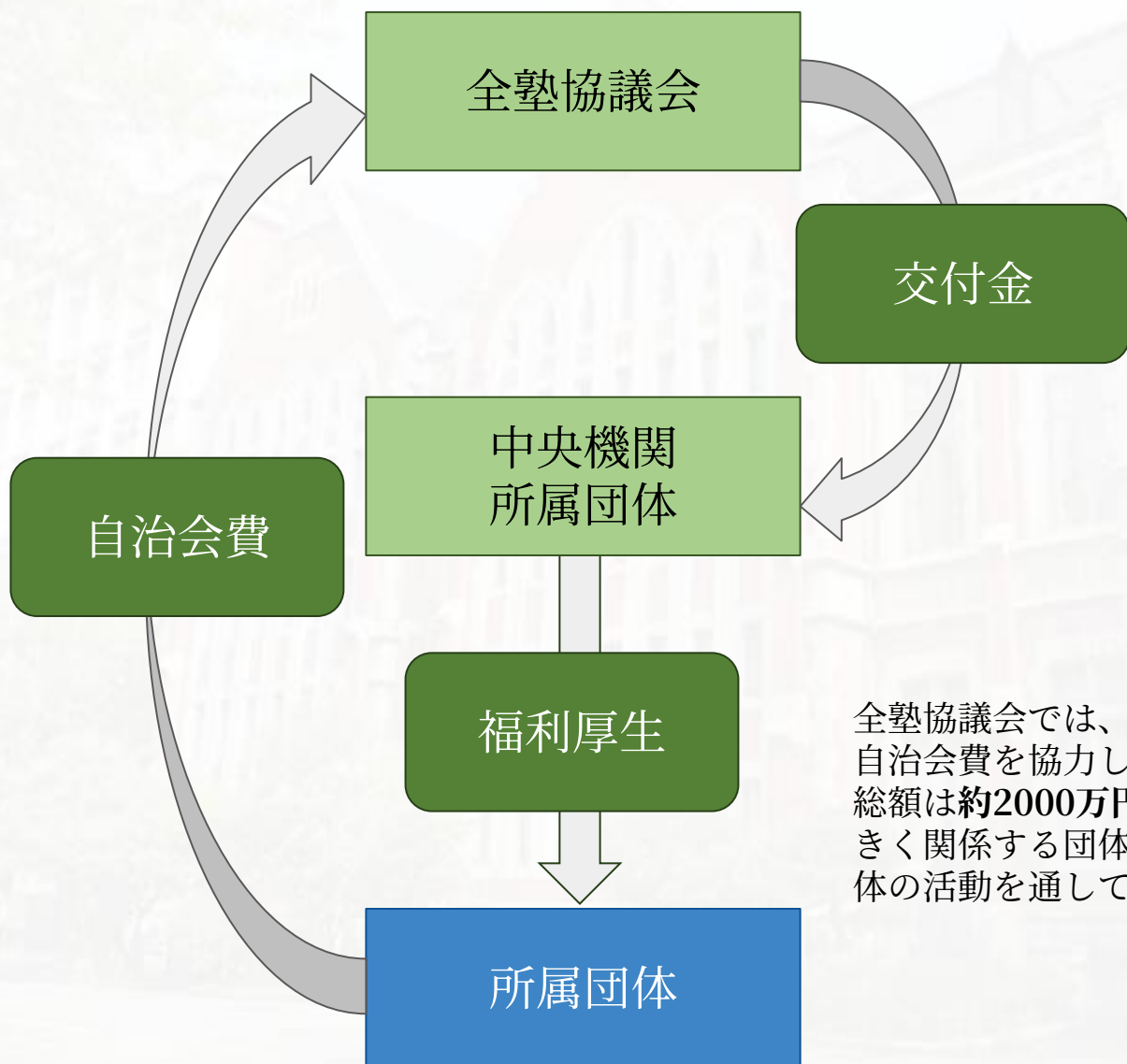
1. 全塾協議会のお金の仕組み
2. 各団体の交付額報告

## 1. 全塾協議会のお金の仕組み



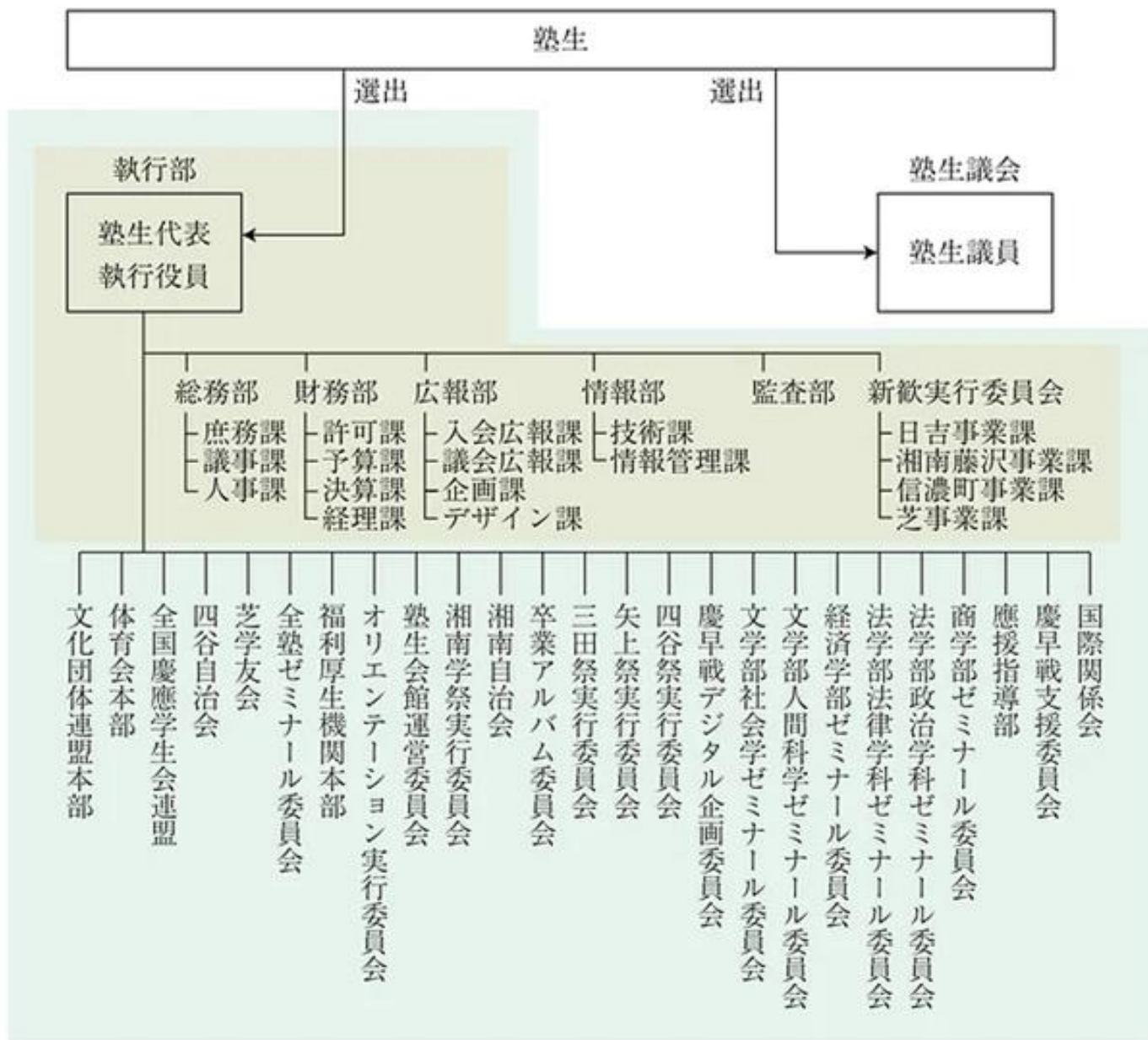
慶應義塾大学  
全塾協議会  
All Keio Student Council

# 全塾協議会のお金の流れ



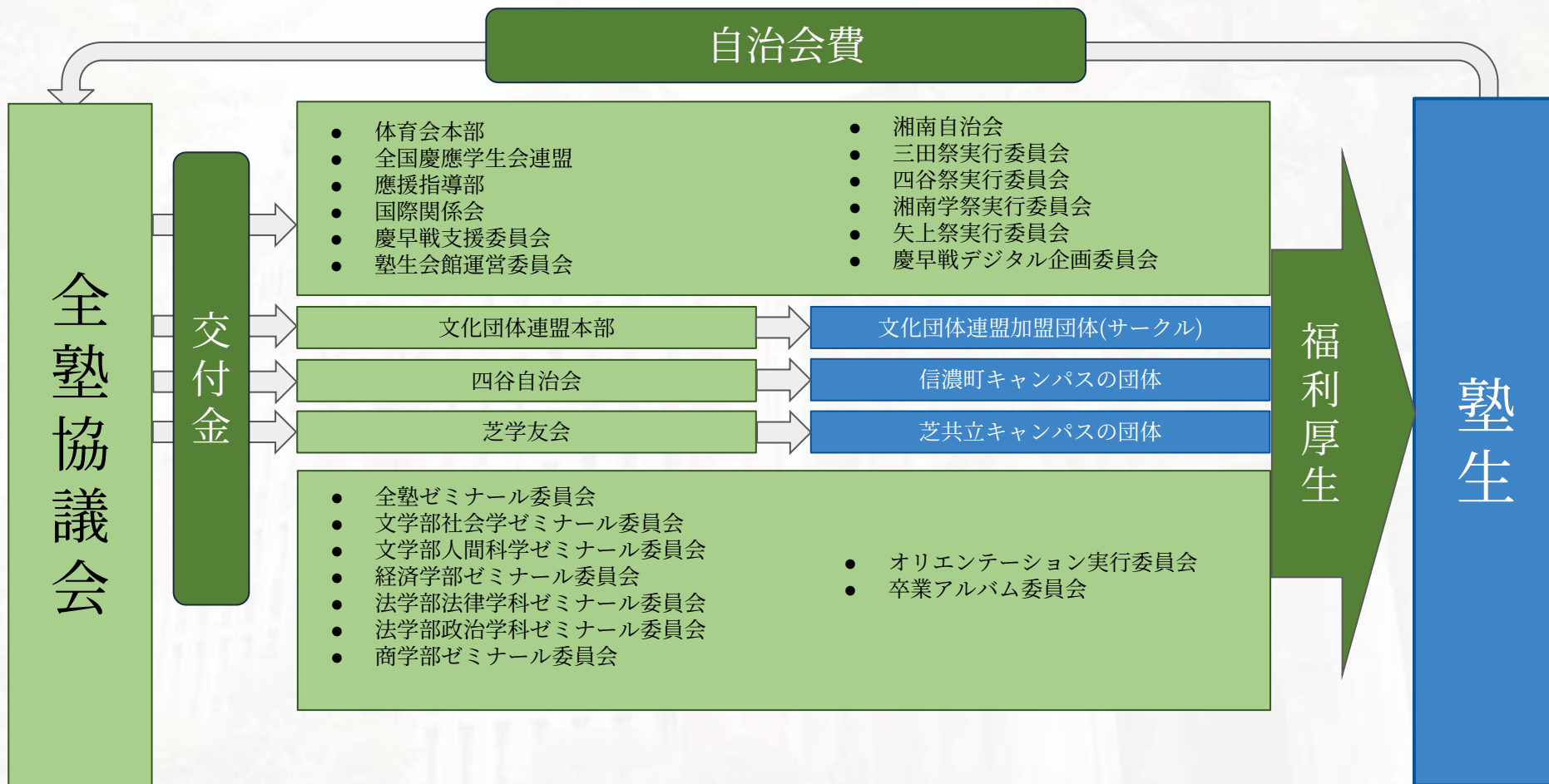
全塾協議会では、全塾生（正規学部生）に一人750円の自治会費を協力して納めて頂いています。総額は約2000万円となっており、これを塾生生活に大きく関係する団体に分配することで、中央機関・所属団体の活動を通して塾生の福利厚生に還元しています。

# 全塾協議会の組織(2024.4.1～)





# 自治会費の主な分配先



全塾協議会には、比較的公共性が高く、多数の塾生が関わる団体が所属しています。自治会費交付金の大部分は、こういった所属団体・特別委員会に交付されています。一部は所属団体を通して、サークル等にも分配されます。自治会費交付金のみで運営している団体だけでなく、団体自ら集めた独自財源のみで運営している団体や、交付金と独自財源を併用して運営している団体も多く存在します。

# 2023年度自治会費交付金の追加交付について

この度、全塾協議会は大規模な組織改革として、「会計期間の移行」を行います。

これまで、全塾協議会は会計期末を9月末日、所属団体は各自で設定されて参りましたが、これを**3月末日で統一**とし、大学当局との連携の円滑化及び財務関連システムの運用の簡易化を目指します。

全塾協議会の会計年度の取り扱いは下記の通りです。

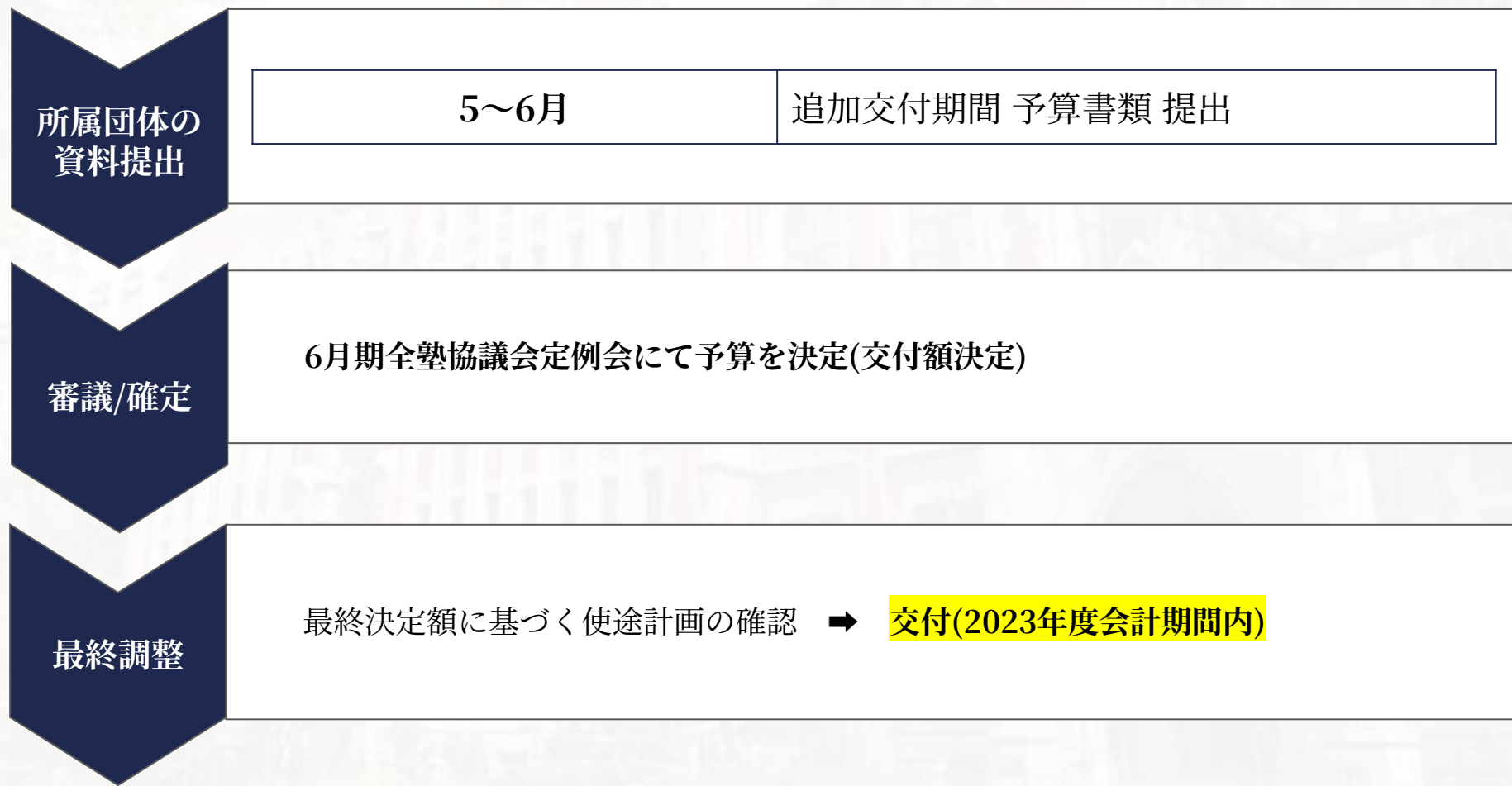
- 2023年度：2023年10月1日～2024年9月30日
- 2024年度：2024年10月1日～2025年3月31日
- 2025年度：2025年4月1日開始

2024年度会計は移行処理の関係で、所属団体への交付金交付は行いません。

そのため、例年2024年10月1日～2025年3月31日に交付金交付を行う団体を対象として、

2023年度会計内で交付金を交付することにより、活動に支障をきたさないよう最大限調整をし移行することができます。本説明資料は、この追加交付額の決定理由等について取り扱います。

# 自治会費交付までの大まかな手順





## 2. 各団体の交付額報告



慶應義塾大学  
全塾協議会  
All Keio Student Council

# 交付金交付額一覧

団体名	2023年度追加交付金交付額
国際関係会	¥800,000
湘南自治会	¥377,900
三田祭実行委員会	¥2,050,000
矢上祭実行委員会	¥1,450,000
四谷自治会	¥820,000

今回の追加交付対象団体は、例年10月1日～翌年3月31日に交付金交付を行う団体です。団体の財務責任者の皆様と協議の上、2023年度での追加交付が必要だと判断した団体に、2025年3月31日まで運用を行うにあたり必要な金額を交付する形となりました。

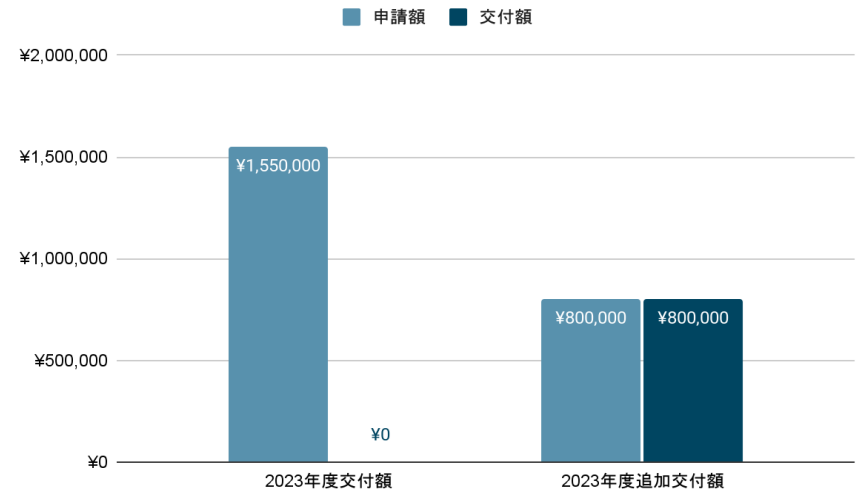
# 福利厚生機関本部傘下 国際関係会

## 2023年度決定 追加交付額

800,000円

申請額  
800,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

＜前提＞国際関係会の本来の会計年度は1月から12月までであり、既に2024年12月までの活動に対する交付額は決定されている。7頁の通り2025年会計年度が2025年4月になったことを受け、3か月の移行期間が生じたことで必要となる活動費用に対し、追加で交付するものである。

800,000円の申請額に対し、800,000円の交付とした。

国際関係会には2024年12月までは、「塾生の理解を得る期間」としており、その間の活動費用は交付していない。しかし今回、理解が得られた場合に2025年1月から当面活動するのに必要な金額を交付する必要があると判断した。また前回に比べ財務体制の健全化は進んでいることも加味して、申請額に対し満額の交付とする。なお、十分な評価が得られなかった場合には、その使用は原則として認められない認識である。

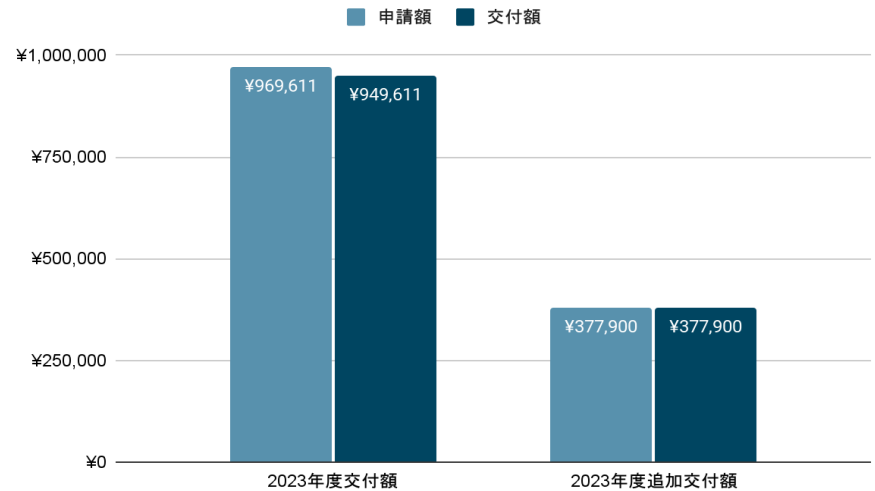
# 湘南自治会

## 2023年度決定 追加交付額

377,900円

申請額  
377,900円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

<前提>湘南自治会の本来の会計年度は1月から12月までであり、既に2024年12月までの活動に対する交付額は決定されている。7頁の通り2025年会計年度が2025年4月になったことを受け、3か月の移行期間が生じたことで必要となる活動費用に対し、追加で交付するものである。

377,900円の申請額に対し、377,900円の交付とした。

今回の申請においては、主に掲示物掲示用の看板（A1サイズ）と差し込む用紙の印刷代である。キャンスマップ企画の立て看板設置等の施策を拡大することを目的とした予算となっており、既に2024年春学期に湘南藤沢キャンパス（以降、SFC）で同企画が好評だったことを踏まえ、十分に有効であると判断した。また財務管理体制も引き続き問題がないことが確認できたことを加味して、申請額に対し満額の交付とする。

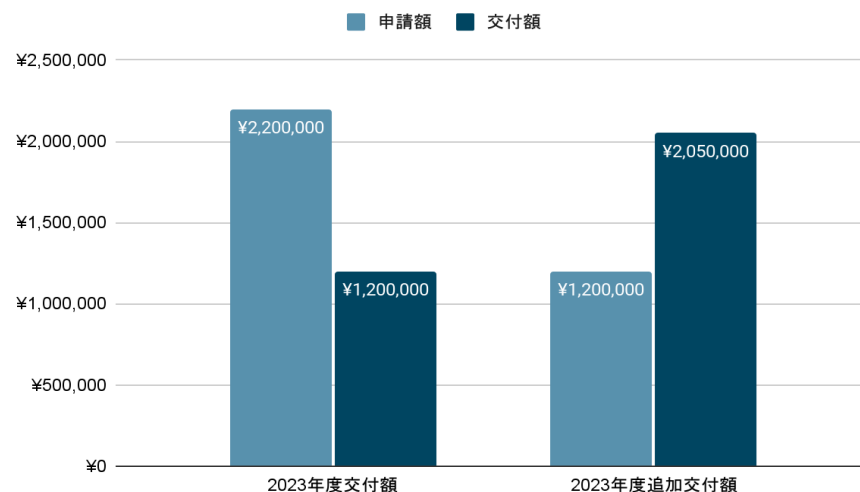
# 三田祭実行委員会

## 2023年度決定 追加交付額

2,050,000円

申請額  
1,200,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

<前提>三田祭実行委員会は、例年10月に同年4月から翌年3月までの活動に対して交付している。7頁の通り、本年は10月に交付を行えないため、例年より前倒し、交付するものである。

1,200,000円の申請額に対し、2,050,000円の交付とした。

技術活用等による財務面を中心とした組織改革を昨年12月頃より開始されたこともあり、財務を中心とした組織体制は大きく改善されたと判断した。またステージ設営に関して、受益者負担の原則から参加団体による負担増が必要である状況に変わりはない認識である。しかし本年度は未だコロナ明けの影響もある。そこで自治会費交付金で一部参加費を補助することにより、各団体の参加に対するハードルを下げ、アフターコロナによる学園祭の活性化につなげたいと考える。上記2点を踏まえ、申請額に対し補助額を加え、2,050,000円を交付する。

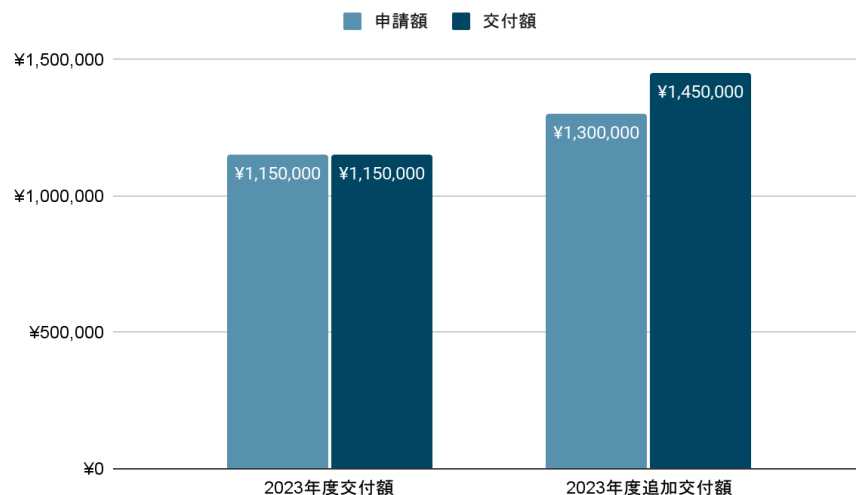
# 矢上祭実行委員会

## 2023年度決定 追加交付額

1,450,000円

申請額  
1,300,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

<前提> 矢上祭実行委員会は、例年10月に同年4月から翌年3月までの活動に対して交付している。7頁の通り、本年は10月に交付を行えないため、例年より前倒し、交付するものである。

1,300,000円の申請額に対し、1,450,000円の交付とした。

2023年度交付金交付額決定報告でも記載した通り、活動内容の見直しやアンケートによる実施意義根拠の確認もされている。また財務体制も健全である。またステージ設営に関して、受益者負担の原則から参加団体による負担増が必要である状況に変わりはない認識である。しかし本年度は未だコロナ明けの影響もある。そこで自治会費交付金で一部参加費を補助することにより、各団体の参加に対するハードルを下げ、アフターコロナによる学園祭の活性化につなげたいと考える。上記2点を踏まえ、申請額に対し補助額を加え、1,450,000円を交付する。



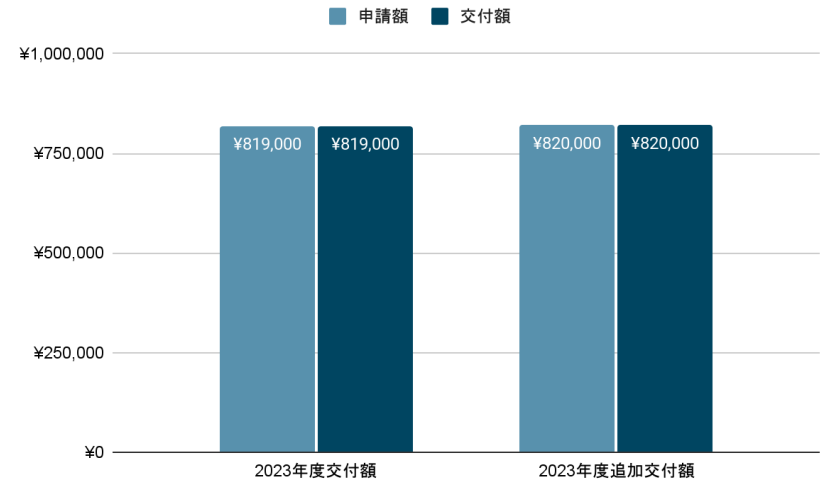
# 四谷自治会

## 2023年度決定 追加交付額

820,000円

申請額  
820,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

<前提>四谷自治会は、例年10月に同年4月から翌年3月までの活動に対して交付している。7頁の通り、本年は10月に交付を行えないため、例年より前倒し、交付するものである。

820,000円の申請額に対し、820,000円の交付とした。

基本事業である信濃町キャンパスの支援については引き続き理解をしつつも、その詳細の公開状況は依然芳しくはない。しかし、ウェブサイトの整備等の進捗は確実にあったことも確認できている。引き続き塾生に対する積極的な情報公開は求めつつもその意義や金額の精査は十分確認できたことを踏まえ、申請額に対し満額の交付とする。